

SATOYAMA

Volume One

# 農業の今、 福島は今。

生 限界集落でもあり、被災地でもある  
きる 「片倉地区」の取り組み。  
る

みんなで集まって何かをやろう。得意分野を生かそう。

る  
た  
め  
に  
作  
る。

みんな  
う姿勢  
を取  
りた  
か  
つ  
た  
ん  
で  
す。

片倉  
地区  
は  
孤  
立  
せ  
ず、  
全  
員  
で  
頑  
張  
ろ  
う、  
と  
い  
う  
姿  
勢  
を  
取  
り  
た  
か  
つ  
た  
ん  
で  
す。

い  
ま  
し  
た。  
だ  
か  
ら  
こ  
そ  
ら、  
産  
業  
も  
廃  
れ  
て  
し  
ま  
い  
ま  
し  
た。  
だ  
か  
ら  
こ  
そ

原  
発  
事  
故  
が  
起  
き  
て、  
皆  
避  
難  
し  
て。  
若  
い  
人  
は  
戻  
ら  
ず  
住  
民  
も  
激  
減  
し  
た  
か  
ら、  
産  
業  
も  
廃  
れ  
て  
し  
ま  
い  
ま  
し  
た。  
だ  
か  
ら  
こ  
そ

自  
分  
の  
健  
康  
は  
自  
分  
で  
作  
る。  
農  
の  
原  
点  
へ  
立  
ち  
返  
る。

# 6年目の福島、農業の現場

## 孤立せず、横で繋がる農家団体を

### 任意団体「片倉夢ファーム」とは？

渡辺：東日本大震災で被害を受けた田畑を対象に「圃場整備支援※」があると知ったことをきっかけに、片倉地区の農業を今後どうするか話し合いました。農地を荒らさず、継続して次世代に渡したいという思いで立ち上げた組織です。

### 震災がきっかけで立ち上がったと。

渡辺：もちろんそうです。しかし、被災地というだけではなく、元々片倉地区は限界集落。そういう意味でも、孤立して商売するのではなく、横で繋がる組織を作ろうと思いました。

但野：圃場整備の話きっかけに「みんなで集まって何かやろう、得意分野を生かそう。」と話し合いました。小さくても農家魂を皆持っていますから。そうして28年3月1日に設立しました。震災をきっかけとした新チャレンジですね。限界集落は被災地に限らず、日本全国にある共通問題ですから。

渡辺：実際、私たちも他の地域の集落の話を参考にしていますね。

### 避難先から戻った理由

#### 南相馬市は震災後避難区域になった。どのような影響が？

渡辺：正確にいうと、同じ南相馬市の中でも小高地区は避難区域で、片倉地区は緊急避難区域、鹿島地区は避難区域ではありませんでした。1つの市が分断されてしまったんです。

※耕地区画の整備等を実施することによって労働生産性の向上を図り、農村の環境条件を整備すること。

### お2人は地区外へ避難を？

但野：私は3年ほど避難していました。職場の近くに避難したので通勤は楽になりましたが。

### 片倉地区に戻られた理由は？

但野：先祖から受け継いだ土地や家を守る、という理由が大きいです。もう一つは、周囲に緑や土がある環境で育ったから、アパート生活は違和感の連続でした。作物を育てるだけではなく、花や鳥や自然の変化が分かる、そんな生活に戻りたいと思いました。

渡辺：そうですね。但野さんと同じ思いで、私たちは戻ってきました。でも小さい子供がいる家庭は戻らない方も多かったです。避難地区だった小高地区に戻ってきたのは人口のわずか8%です。

### 隣接地区である小高地区の人口激減。影響も？

渡辺：小高地区は国道が通っている中核地域でした。でも原発事故が起きて、皆避難して。若い人は戻らず住民も激減したから、産業も廃れてしまいました。だからこそ片倉地区は孤立せず、全員で頑張ろう、という姿勢を取りたかったんです。

## 震災を経たからこそ「農の原点」に立ち返る

### 作る作物はどのように決めている？

渡辺：決め方は様々です。南瓜の苗に対する補助事業があれば、南瓜を植えますし。

但野：あとは、やはり健康にいい作物。「ごま」や「えごま」は中心商品ですね。特に加工して作ったエゴマ油はオメガ3の油がとれると好評です。サプリで摂取するのもいいですが、出来るだけ本物をそのまま食べて欲しいですね。

渡辺：エゴマ油は好評ですね！去年は他にも補助事業として苗木を頂いたので、ブロッコリーや南瓜を育てました。

但野：そもそも、農の原点は「生きていくために作る。」というシンプルなこと。震災が起き、事故が起きたからこそ、「自分の健康は自分で作る。」ことはより大事にしたい。

### エゴマ油は来年も継続して作る？

但野：作ります。でも作付面積を増やせば販路もその分確保しなくては。適正規模を見極めていきたいですね。グループでやっているのでも、皆が納得できる状況で納得できるものを作らないと。

## 主体性が自ら生まれるような集団へ

### 集団の運営はどのように？

渡辺：シンプルですよ。農作業に出れる時間をシフトで決めています。30分単位で勤怠を管理して、出勤時間に応じて利益を分配していますね。

但野：僕らは企業ではないし、個人を縛ってしまうとうまくいきません。出られる人で作業を進めていくのが基本ですね。

渡辺：団体にとっての初年度が終わったところですから、来年からが本当の勝負ですね。

但野：そうですね。初年度は物珍しさも手伝って、全員で楽しく作業することができました。でも、2年目からは、よりまとまりが大事になってくると思います。

渡辺：みんな最初より慣れてきていて、作業効率も上がっています。前より少ない時間で多くの作物を獲れるようになってきましたね。

## 片倉夢ファーム

但野忠義

渡辺和男

組織もさらに進化する時期。今後どのように展開を？

但野：主体性のある組織を目指します。効率化だけを追いかけると、効率のいい人だけが頑張っ取り残されてしまう人も出てくるかもしれない。今まで以上に、主体性が自然と生まれるような土壌を作らなければいけないですね。そのためには、発起人である我々が先陣を切り続けていきます。

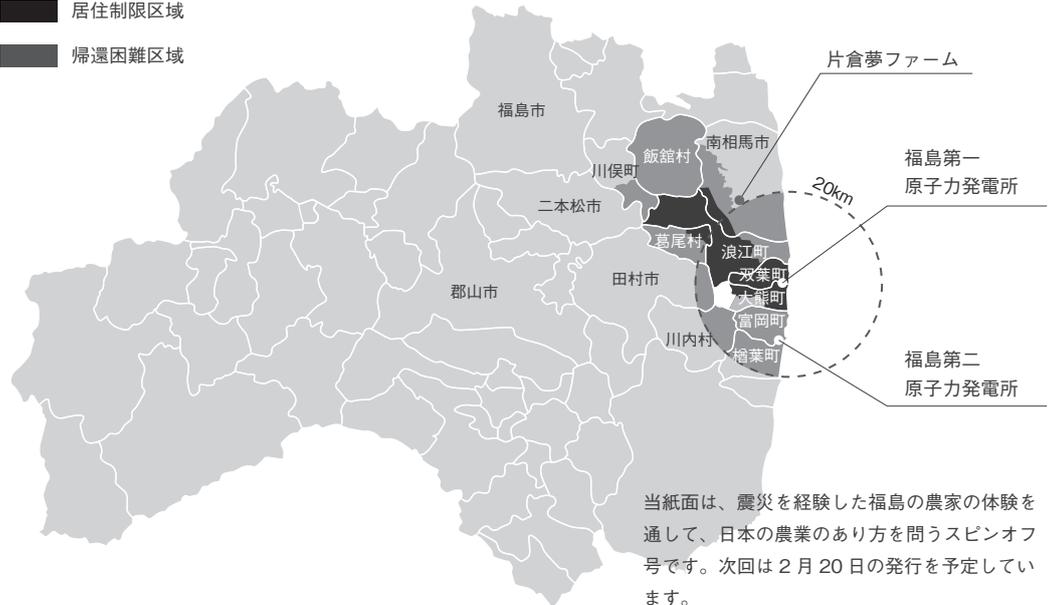
渡辺：具体的には、来年度はまずは法人化を目指します。人数とのバランスを取りながら、規模を拡大していきたいですね。

但野：みんなでワイワイ集まって作業して、それでお金がもらえたら嬉しいですね。集落内の輪を大事にしながら、より健康に美味しく食べてもらえるようなものを作り続けます。



SATOYAMA Volume One 2017.10

- 避難指示が解除された区域
- 避難指示解除準備区域
- 居住制限区域
- 帰還困難区域



里山ガーデンファームとは

里山ガーデンファームでは、50以上の生産者が集い、福島豊かな地形が生む様々な野菜や果物、加工品を生産している。集荷センターなどを介さず、生産者から直接買って届くだけでなく、生産者に会いに行き、実際に農業の体験もできる。創り手と消費者が限りなく近い、信頼関係を築ける場所。おいしさと一緒に、福島の今を知ってもらいたい。

NPO 法人 がんばろう福島、農業者等の会  
〒964-0976 福島県二本松市新生町 490  
TEL:0243-24-1001 FAX:0243-24-1536

当紙面は、震災を経験した福島の農家の体験を通して、日本の農業のあり方を問うスピノフ号です。次回は2月20日の発行を予定しています。

2017年10月20日 発行

平成29年度福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業補助金（県内避難者・帰還者支援事業）により発行しています。